



ごしよの保育園の子どもたち。21世紀を担う大切な宝物です

高齢者も子どもも、障害のある人もない人も、安心して暮らせるまちづくり。利用者のニーズに合わせた、きめ細かな福祉サービスを提供します。

第三章 安心して健康にすごす 助け合いのまち

少子長寿社会の 福祉サービスが充実

ノーマライゼーションの 社会実現をめざす

●七十歳以上のかたを対象に、バス回数券千円分を五百円で購入できる「高齢者バス優遇乗車助成事業」を引き続き行います。

●長寿をお祝いするため、節目の年齢（傘寿、米寿、卒寿、白寿）を迎えるかたに、記念品を贈呈する「いきいき長寿祝い事業」を実施します。

●泉地区に平成十四年度下期にオープンする、高齢者生活福祉センター・知的障害者通所授産施設・保育所・地域交流スペースからなる民設民営型の「福祉複合施設」の建設を支援し、「ノーマライゼーション」の社会の実現をめざします。

●市内で二番目となる知的障害者のグループホームを開所。知的障害者が共同生活により自立をめざします。

●山内地区にある知的障害者通所更生施設「杉の木園」の分場施設を手形地区につくります。

児童館を開放して 子どもの遊び場に

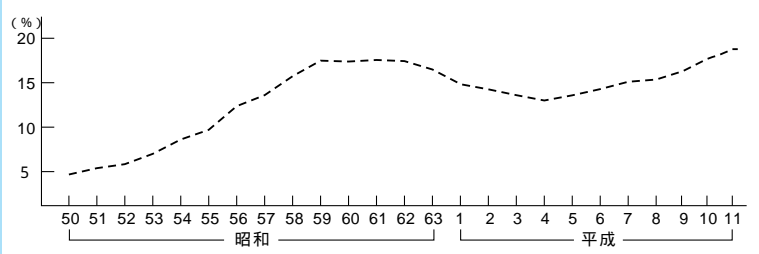
●保育所の受け入れを拡大するため、飯島にふじ保育園を新設します。

●出産直後のお母さんの家庭に向き、家事や育児の援助をする「ママヘルプサービス」を行います。↓18ページ

●就学前の親子の遊び場として平日の午前中、明德、高清水など五か所の児

秋田市の財政状況を見る。

秋田市の公債費比率の推移



借金返済の一般財源に占める割合

公債費比率

この数値が低いほど財政は

公債費は、道路、学校、公園といった公共施設を建設するためなどに行つた市の借金（市債）の返済金です。これが一般財源に占める割合を公債費比率といいます。

この数値が高いほど財政は硬直化しているとされ、秋田